



No. 88

# こしがやシルバー だより

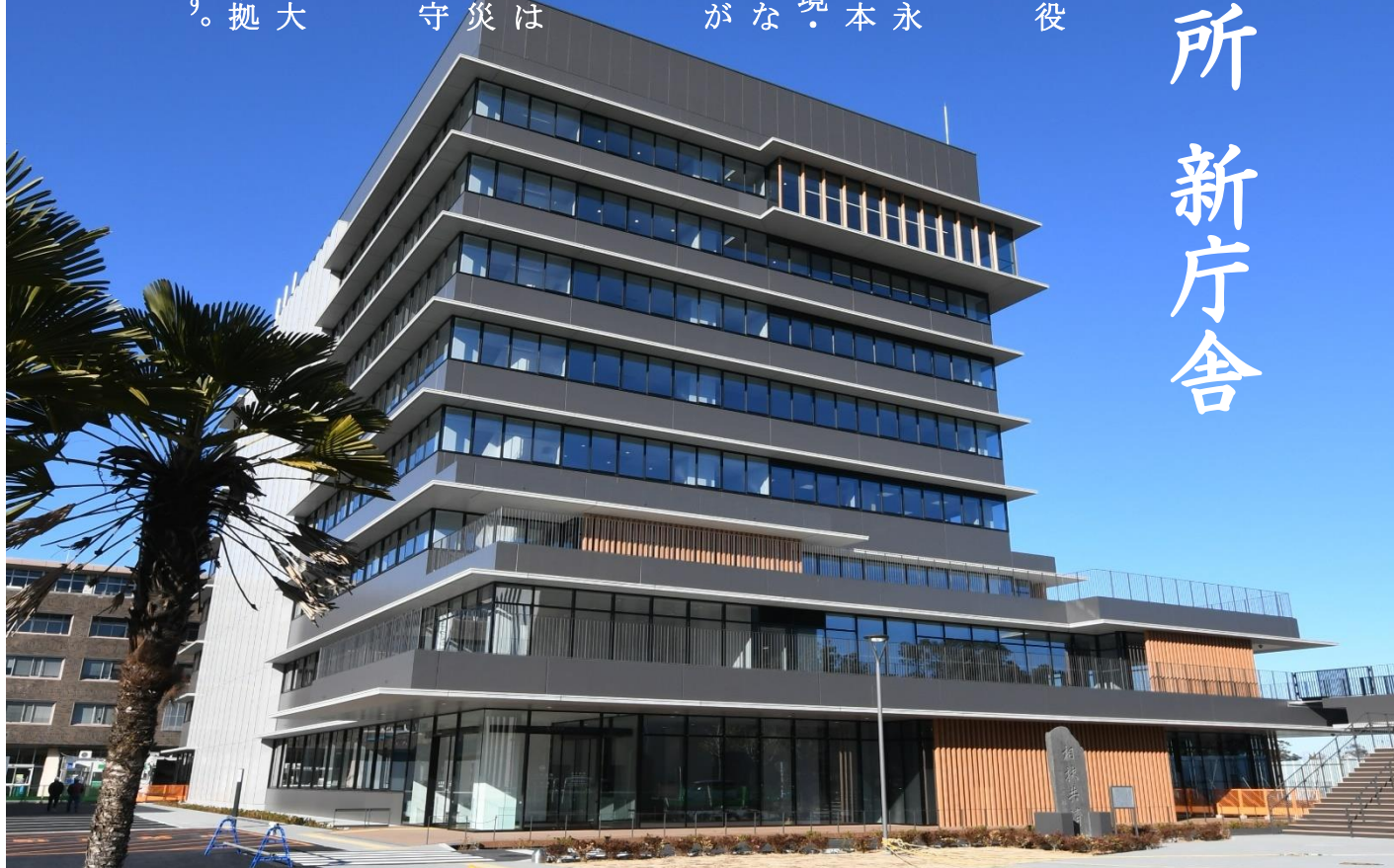
## 越谷市役所 新庁舎

令和三年五月六日、越谷市役所が生まれ変わりました。

昭和四十四年に建設され、永く市民に活用されてきた旧本庁舎が役目を終え「人・環境・歴史・安心」をつなぐ新たな越谷の拠点として、新庁舎が稼働開始しました。

元荒川や葛西用水の豊かな水辺環境に囲まれた空間は人々を癒し、非常時には防災拠点として、市民の安全を守ります。

市民が親しみをもち、永く大切に利用できる新たな地域拠点が、越谷を見守っています。



写真提供：越谷市市長公室広報シティプロモーション課

### 目次

- 表紙・・・越谷市役所新庁舎
- P2～3・・・令和3年度定時総会開催
- P4・・・新旧理事長挨拶
- P5・・・安全・クレーム撲滅標語受賞発表
- P6・・・私たちの住む街 大相模地区
- P7・・・安全ニュース
- P8・・・入会のご案内、編集後記

**発行** 公益社団法人越谷市シルバー人材センター  
**編集** 広報委員会

〒 343-0023 越谷市東越谷1-5-6

産業雇用支援センター3F

TEL：048-967-4311

FAX：048-962-8300

E-mail [koshigaya@sjc.ne.jp](mailto:koshigaya@sjc.ne.jp)

U R L <http://webc.sjc.ne.jp/koshigaya/>

# 令和3年度定時総会開催

令和3年6月23日（水）



山本茂樹 理事長

第41回定時総会は、残念ながら昨年同様新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴いご来場の自粛要請のため、大規模会場での開催を自粛し、産業雇用支援センター4階会議室で開催されました。

事前に事務局へ届きました会員からの委任状 885 通と合わせ定款に定める定足数を満たし、総会は有効に成立いたしました。

開会に先立ち、山本理事長から「今後さらなる成長を目指すべく、昨年度は第二次中長期計画の策定に取り組みました。『会員の拡大』、『就業機会の確保・事業の拡大』、『安全適正就業の徹底』の3項目を重要項目として、今後の発展に向け、より一層取り組んでまいります。」と挨拶がありました。

その後、議長選任を行った後議事に入り、報告事項5件、ならびに議案3案件が提示されました。審議の結果、報告事項に異議はなく、議案も原案のとおり可決承認されました。

本年度は、定時総会が開催された6月23日をもって任期満了のため役員改選となり、全員異議なく賛同を得て、新役員の承認がされました。また、任期満了により、山本茂樹理事長、山杉道雄理事の2名が退任となりました。その後、吉田副理事長の挨拶をもって、総会は無事終了いたしました。



定時総会の様子

## — 報告事項 —

1. 監査報告
2. 事業報告
3. 収支補正予算
4. 事業計画
5. 収支予算

## — 決議事項 —

1. 令和2年度 貸借対照表及び損益計画書  
(正味財産増減計画書) 財産目録の承認
2. 定款の一部を改正する定款制定の承認
3. 役員選任の承認

## 役員改選のお知らせ

本年度は役員改選により、総会終了後の理事会におきまして「理事長」「副理事長」が交代となりました。紙面をお借りし、役員を紹介をさせていただきます。

### 新理事長

吉田 種盛

### 新副理事長

奥山 茂子



### 新理事名簿

		氏 名	所 属 委 員 会
理 事 長	新	吉田 種盛	安全管理委員会
副 理 事 長	新	奥山 茂子	組織委員会
常 務 理 事		江原 勝明	事務局 長
理 事		稲垣 弘明	業務委員会
〃		遠藤 由紀子	組織委員会
〃	新	倉持 修	就業開拓委員会
〃		小泉 義男	安全管理委員会
〃	新	小林 肇	安全管理委員会
〃		鳥田 浩	広報委員会
〃		鈴木 正明	越谷市環境経済部長
〃		立澤 幸子	組織委員会
〃	新	土居 曜子	広報委員会
〃		中澤 廣一	広報委員会
〃		中村 次男	業務委員会
〃		山崎 かえで	就業開拓委員会
監 事		田村 順一	就業開拓委員会
〃		馬場 広志	組織委員会



## 理事長交代の挨拶

### 新理事長 吉田 種盛



#### ◇ 新任挨拶と抱負

この度、山本理事長のあとを受け、理事長に選任いただきました。

現在コロナ禍でシルバー人材センターの契約金額、会員登録も共に減る傾向にあります。さらに今後企業の努力義務として70才まで働ける機会を確保するという流れになっている状況下、会員をいかに増やしていけるかが大きな課題になります。地域に寄り添い密着した事業運営と会員のやりがいを満たす組織活動を展開していきたいと思っております。微力ではありますが、越谷市シルバー人材センターの活性化に会員と共に歩んで参りたいと思っております。

#### ◇ これまでの略歴

H21年11月：入会                      H22年3月～H27年1月：襖班所属                      H23年6月～：刃物研ぎ

H22年3月～H24年2月：臨時職員、H23年6月～：理事、H27年6月～：常務理事、H29年6月～：副理事長

#### ◇ シルバー人材センター入会の動機

シルバー人材センターに入会の動機は、自宅の障子、襖の張替えを自分で出来たらと思い研修を受け、襖班に入ったのがきっかけです。現在は刃物研ぎ作業2回/月、地区センターで1～2回/年講師を行っております。

### 前理事長 山本 茂樹

#### ◇ 退任挨拶

この度、6月23日の定時総会をもって理事長を退任いたしました。顧みますと、2010年理事として就任以来常務理事4年、理事長6年の長きにわたり、シルバー人材センターの運営に携わらせて頂きました。その間リーマンショックによる円高不況、東日本大震災、公益法人への移行、今なお続く新型コロナウイルス禍等、色々な事がありましたが、役職員及び会員の皆様のご支援ご協力により大過なく務めることができました。また、この間多くの知己・仲間を得ることができ、私の大きな財産となりました。改めて心より感謝とお礼を申し上げます。今後は、新しい理事長・副理事長を中心に新体制の中、越谷市シルバー人材センターが一段と発展されることを心より祈念いたします。

#### ◇ 任期中の足跡

##### 【公益法人への移行とその後の法人法・公益認定法等に則った運営】

理事時代から事務局とともに移行の準備に入り、定款以下の規則等の改定、体制・会員組織の見直し等を行って無事移行できました。

##### 【リフォーム事業への進出】

当時入会時に提出頂いた特技・経験等のアンケート回答から技術・技能者を把握し、キッチン、ユニットバス、フローリング等のリフォーム事業に進出、「月刊シルバー」でも紹介されました。しかし業法に抵触、民業圧迫との声が上がリ、残念ながら工事は自粛することとなりました。

##### 【越谷市との協定書締結】

空き家等管理、介護予防日常生活支援総合事業について、市と協議を重ね、協定を締結することができました。

#### ◇ プライベートでの活躍

2007年、会社をリタイヤして始めた「ベンチプレス競技」。初出場した県大会は77.5kgの最下位でした。それで奮起しトレーニングに励んだ結果、2011年デンマークの世界大会に日本代表として出場し銀メダル。その後アメリカ、リトアニア、南アフリカ等の世界大会で大会6連覇(金メダル)を獲得でき、170kgの世界記録も出すことができました。現在、埼玉県パワーリフティング協会理事、協会審判員として活動しております。

越谷市シルバー人材センター

# 令和3年度 安全 クレーム撲滅 受賞標語発表

本年も昨年同様、新型コロナの影響により表彰式を割愛させていただきます。  
受賞された皆様には、大変申し訳ありませんが、紙面にて表彰式と代えさせていただきます。

## 安全標語受賞

金賞 大沢地区

菅原 宣夫



コメント

老いの身になれば、人生で4つの峠に出会うことがあるといわれます。「孤独 無為 病気 貧乏」これらの峠を一足一足越えようとする時、会員（シルバー）であることに大きな感謝がわいてきます。ありがとうございます。

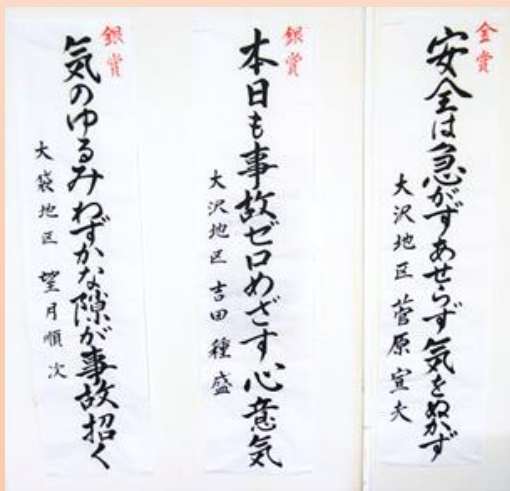
銀賞 大沢地区

吉田 種盛



銀賞 大袋地区

望月 順次



## クレーム撲滅標語受賞

金賞 大相模地区

田崎 孝一



コメント

常日頃、この標語のように心掛けて、頑張って仕事をしています。

この度はありがとうございます。

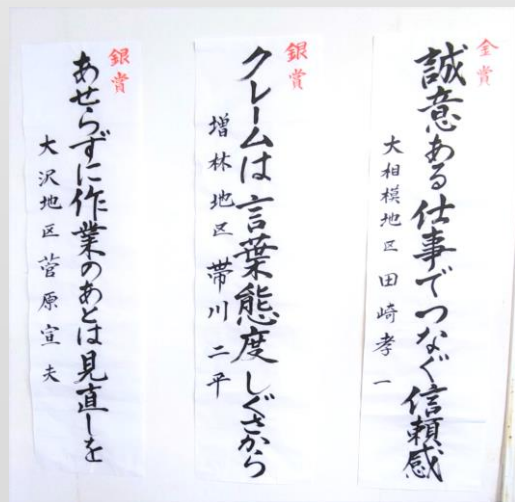
銀賞 大沢地区

菅原 宣夫



銀賞 増林地区

帯川 二平





## 連載：私たちの住む街

### 【第5弾 今回は越谷市大相模地区をピックアップ】

#### 大相模不動尊大聖寺

真大山大聖寺は、真言宗豊山派の寺で、ご本尊は不動明王です。天平勝宝2年（750）に奈良東大寺の開山で知られている良弁僧正が自作の不動明王を祀って開基された。中世には、不動院と称し天正19年（1591）当山に宿泊された徳川家康から寺領60石を賜りこの時に現寺名「大聖寺」に改めたと言われています。

寺宝として、元龜3年（1572）に北条氏繁が岩槻城の繁栄祈願を

命じた文章や、家康が宿泊の際に使用したという寝具などが残されている。



大聖寺 山門



大聖寺 本堂

#### 日枝神社

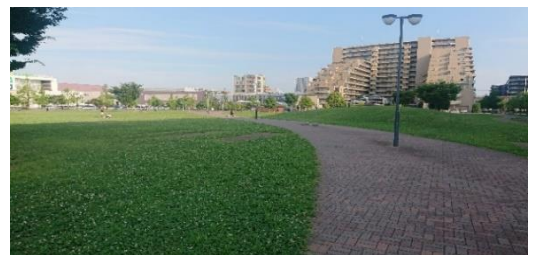
もとは「山王社」と称され東光院、利生院、神王院、安樂寺、薬王寺、観音寺の6寺院を配下におさめていた大きな社であった。その後、江戸時代に4寺が大相模大聖寺の塔頭に移され1寺が廃寺となったが山王社は、西方村の鎮守になった。明治初年、山王社は日枝神社と改称された。



日枝神社

#### 見田方遺跡公園

昭和42年から43年にかけて発掘調査され、その結果古墳後期から古代にかけての住居跡や土器が出土した。後世にわたって保存・継承するために公園の下に遺跡を現状保存している。



見田方遺跡公園

#### 大相模調節池

地区整備事業の「越谷レイクタウン事業」の一環として、事業区画のほぼ中央に39.5haという広さの水害対策を視野に入れた調節池として整備され平成26年に竣功された。

writer A.I



平成20年開業 JR越谷レイクタウン駅

#### 旧東方村 中村家住宅

江戸時代に忍藩領東方村下組（現在の大成町周辺）の名主を勤めた中村家の旧宅で昭和50年に越谷市指定文化財に指定された。中村家に伝わる古文書によると、安永元年（1772）の建築と記されており越谷市最古の住宅と言われている。



旧東方村中村家住宅

# 安全ニュース

安全管理委員会よりお知らせ



## 熱中症に注意して、暑さに負けない体づくりを！

コロナ禍での2回目の夏を迎えています。

総務省消防庁によると、昨年（6～9月）、熱中症で救急搬送された人の数は64,869人で、そのうち57.9%にあたる37,528人が高齢者（65歳以上）でした。また、発症場所で一番多かったのは屋内とのことです。高齢者の発症率、屋内での発症率ともに上昇しており、コロナ禍での外出自粛が大きく影響しているのではないかと考えられております。

加齢により喉の渇きを感じにくい高齢者の発症数はもともと多いのですが、コロナ対策でのマスクがそれを助長するとも言われています。熱中症というと、炎天下の屋外というイメージが強いと思いますが、屋内にいるからと油断せず、積極的な水分補給を意識しましょう。

一方で、熱中症が怖いからといって、家の中でじっとしているだけだとフレイル（虚弱）のリスクが高まります。

**動かない →筋力低下・食欲不振 →夏バテ →動けない・・・と負のスパイラルに陥る注意も必要です。**

そこで、屋内でできるフレイル予防の運動を紹介いたします。熱中症予防対策（マスクを外せる環境、涼しい時間や場所を利用するなど工夫して）を十分施し、無理のない範囲で暑さに負けない体づくりをしましょう。

### 【フレイル予防運動 椅子を使った運動のご紹介♪】

写真：越谷市シルバー人材センターの会員がフレイル予防運動を行っている様子（イメージ）

#### 座って「ももあげ」

- ① 椅子に浅く座り、両手で椅子のふちを持つ
- ② 上体はまっすぐのまま、太ももを胸にひきつけ5秒静止
- ③ 左右繰り返す

※はじめは3回程度から、回数を増やしていきましょう（最大10回程度）



適度な運動、十分な食事と睡眠(休養)で夏を楽しみましょう！



# 入会のご案内

越谷市シルバー人材センターでは、働く仲間を募集しています。生きがいの充実や、地域社会のために仕事をしたい方はお気軽にお問い合わせください。

1

説明会  
参加申込

## まずは説明会への参加申込みを

説明会は毎月開催しております。開催日程をご確認のうえ、お申込みください。お申込はお電話の他、ファックス・郵送でも受け付けます。

※ お問い合わせはお気軽にセンター窓口またはお電話（048-967-4311）で。



説明会のご案内は地区センターにチラシ設置の他、当センターホームページでもご覧いただけます。

2

入会説明会  
接遇研修会

## 納得いくまで聞いてください

シルバー人材センターで働くことの意義やしぐみ等を担当委員が詳しく説明いたします。ご不明な点があれば、納得のいくまで聞いてください。



入会説明会では、事業内容を詳しくお話しします。

3

入会  
登録

## 登録、そして仕事へ

シルバー人材センターの趣旨にご賛同いただけたら、登録となります。得意なこと経験があることなど、ご希望の仕事で地域に貢献していきます。



入会登録会では、お一人おひとりのご希望を伺います。

### ※ 納得して入会していただくために、ご注意ください

- ①センターは自主的な会員組織で雇用・就職ではありません。
- ②入会後の収入や就業機会の保障はできません。
- ③ご紹介できる仕事は臨時的・短期的、又は軽易な仕事に限られます。
- ④センターの運営費として年会費（2,400円）がかかります。
- ⑤雇用保険、健康保険等の社会保険に加入はできません。

### 編集後記

今回の表紙は、この5月に完成オープンした越谷市役所新庁舎を記念しての写真です。

お馴染みだった旧本庁舎は、昭和44年に建設され約半世紀にわたり、越谷市民の要として活躍してくれました。今回、新築の大きなポイントは、市役所という堅苦しさから脱却し、我々市民のためへの開かれた憩いのスペースが設けられています。手続きや書類を取りに行くだけの市役所から、逆に「市役所へ遊びに行こう！」というイメージチェンジが成されています。

東側の葛西用水側には水郷テラスが設けられ、「川風に吹かれてお茶でも飲もうか」そんなこともできそう。

今後に期待するのは早くコロナが収束して、秋の恒例「市民まつり」が開催され、新しくなった市役所を、越谷市民にとどまらず、埼玉県はもちろん、東京都や近郊の人達にも見てもらい、歴史と水郷の街の変化を知って欲しいと思うところです。

島田 治 広報委員会副委員長